

抄録様式

公益財団法人 8020 推進財団 平成 26 年度 歯科保健活動事業助成交付事業報告書抄録	
1. 事業名：	お口のケア “チェック&アドバイス”
2. 申請者名：	一般社団法人北海道歯科医師会
3. 実施組織：	一般社団法人北海道歯科医師会
4. 事業の概要：	イベントやWebでの口腔内セルフチェックによる健康志向への導きと、潜在歯科疾患保有者の歯科への受診喚起を目的とし、予防歯科医療の重要性および口腔健康の意識高揚を図り、8020運動のより一層の振興を期待する。
5. 事業内容：	<p>平成20年度より本会および郡市区歯科医師会において口腔疾患リスク判定を実施してきた。平成22年度には日歯の生活歯援プログラムの問診を取り入れたソフトを開発し、毎年改良を重ね、平成25年度は各年代層に当てはめるべくバージョンアップを図った。</p> <p>平成26年度は、チェック後の結果にランダムコードを付記し、蓄積データをクラウド化して、当会会員専用の Web ページ上から受診者のセルフチェックの結果を会員医療機関でダウンロード出来るよう改良した。また、生活歯援プログラムの周知拡大と本システムの普及・活用を目的とした会員対象の研修会を開催する。</p>
6. 実施後の評価：(今後の課題)	<p>平成23年5月25日～平成27年3月31日の間、本会および道内の17郡市区歯科医師会が実施する公衆衛生イベント等において、1,934名が「お口のケア “チェック&アドバイス”」を行った。また、平成25年度より本会ホームページ上 (http://www.doushi.net/care/) で閲覧者が「お口のケア “チェック&アドバイス”」でセルフチェックし、生活習慣からお口のケア状態を知り定期健診を喚起する試みも始め、平成26年度までに現在754名が行っている。</p> <p>平成26年度改良としては、チェック後の結果にランダムコードを付記し、蓄積データをクラウド化して、当会会員専用の Web ページ上から受診者のセルフチェックの結果を会員医療機関でダウンロード出来るようになったことから、受診者の歯・口腔に対する関心度や生活習慣、歯科疾患の疑いの有無などを把握することが可能となった。また、「標準的な成人歯科健診プログラム研修会」を開催し、研修会受講者でホームページ掲載を承諾した医療機関をマッピング表示出来るようにした。これにより、「お口のケア “チェック&アドバイス”」をセルフチェックした方が歯科相談を受けられる歯科医療機関を検索可能となった。</p> <p>上記のとおり計2,688余名には啓発されたが、今後は道民ならびに本会会員にもシステムの更なる周知が必要であり、特に会員に対しては、今まで以上に成人健診プログラムによる継続指導・支援が必要と考える。</p> <p>今後の課題としては、受診者に対して支援を行うことができる医療機関の拡大と、この健診形態について道民への周知がより重要になると思われる。</p> <p>※その他、別添参考資料をご参照願います。</p>